

崎 定 長 検

一級 さん

Vol.43

長崎人として
足跡を残したい。

ほん だ いち ろう
本田 一郎 さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。
その卓越した識見には、なにやら一家言ありそうです。
ざっくばらんに寄稿願いました。

2017年の7月、故郷長崎へ34年ぶりに戻り、2年間暮らした集大成として長崎検定は私の中で大切に残っています。

私の職場では地域共生活動を熱心に行っていて、中でも長崎くんちやランタンフェスティバル、帆船まつり前に行う「さるくコース清掃ボランティア」にはガイドの方が同行されます。禁教前にはこんなに建っていたの？と驚く数々の教会跡、印象的な花十文字瓦。坂にも歴史があり、風頭から石を運んだヘイフリ坂、私が幼稚園に通った大音寺がかつてあった坂での不始末に端を発する長崎喧嘩騒動。シシトキ川の下水溝等々、さるいて見聞きしたことに刺激され、もつと長崎の歴史文化について学びたいと、まず2級から受験しました。

こどもの頃から社会科が大好き。小学2年生の時、貧しくて母が地球儀を買えずに渡した地図帳をポロポロになるまで読んで都市や地勢に興味を持ちました。また歴史はずっと得意科目でした。

大学で東京に出ましたが、バブルの中、地元九

州の公益企業を選び、福岡を中心に東京、鹿児島で勤務。ご当地検定は創設時の九州観光マスターやかごしま検定マスター、シニアマスターに合格したものの、論文のある最上級までチャレンジする気になれませんでした。

今回も1級に挑戦するか随分悩みましたが、特別な思いもあり、長崎で歩いて学んだことを出し切ろうと12月から受験対策を開始！まずは前年の手書きノートをPC入力し、新たに得た情報を付け加えました。1月に対策講座を受講しましたが、自分の知識が浅いことを痛感、その足で市立図書館へ行き「新長崎市史」「県勢要覧」などを読んで復習しました。1月末にノートは67頁となり、穴埋め問題も作りました。また短文記述は過去問の傾向を分析し、想定問題と1500字の解答を40問作成し臨みました。

試験直後、凡ミスに気づき不安もありましたが、やりきった感があったので、自己採点せず可否を待ちました。運よく一発合格できたことを有難く思います。5月には合格証をいただき、長崎

新聞に大きな記事を掲載いただきました。関係者の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

残念なことに6月末で長崎を去り、現在は九州大学学術研究都市で産学連携に従事しています。企業の皆さままで、九大の研究シーズを活用した課題解決や共同研究、日本一広い伊都キャンパスでの実証試験をお考えの場合など、お気軽に声をかけていただければ幸いです。

長崎は新幹線開通や大型の再開発を控え、国内外から多くの方が訪れる観光産業都市への飛躍が期待されます。美味で個性ある食べ物、ゴミのない美しい街並み、灯りを絶やさないう輝き続ける夜景：長崎の魅力を見つめ直し、課題と向き合い、大いにもてなしてください。福岡から応援しています。



【プロフィール】

昭和40年生まれ。慶應義塾大卒、九州電力(株)
趣味：マラソン、サイクリング、食べ歩き
好きな場所：長崎港、はまのまち、坂
(公財)九州大学学術研究都市推進機構 産学連携主幹